

受付番号	1 1 2 1 0 0 1
試験担当者	Nobuyuki Murai
Page	1 of 2

【試験品】

機器名：直管LED蛍光灯	モデル名：EH121-M350	S/N：なし
試験規格：基本規格IEC61000-4-5:2005を参照した。 (試験レベルの選択は製造者の指示による。)		

試験条件等

- ・試験品の受領日 : 2011年5月23日
- ・試験日 : 2011年5月31日 : 2011年6月1日
- ・温度 : 23.8 : 21.4
- ・湿度 : 55% : 60%
- ・気圧 : 1010hPa : 1010hPa
- ・試験場所 : ネクスト香川計測室2 (シールドルーム)
- ・基本規格 : IEC61000-4-5:2007
- ・試験レベル : コモンモード : ±0.5kV、±1.0kV、±2.0kV、±4.0kV  
ノーマルモード : ±0.5kV、±1.0kV、±2.0kV、±4.0kV
- ・電圧位相 : 0°、90°、180°、270°
- ・試験回数 : 5回
- ・試験間隔 : 60秒/1回
- ・誤動作の判断基準 : 点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが無いこと。  
(試験中のちらつきは製造者により許容するか試験終了後、オペレーターの介入を必要とせず作動状態に復帰すること。)
- ・作動状態 : 100V電源使用点灯
- ・備考 : EUTは、基準金属面上高さ80cmの木製テーブルに設置した。

(6) 測定機器一覧

試験名	機器名	型式	製造者	製造番号	校正日期限
雷サージ試験	雷サージ試験機	EM TEST	VCS500	0397-20	2011年9月

受付番号	1 1 2 1 0 0 1
試験担当者	Nobuyuki Murai
Page	2 of 2

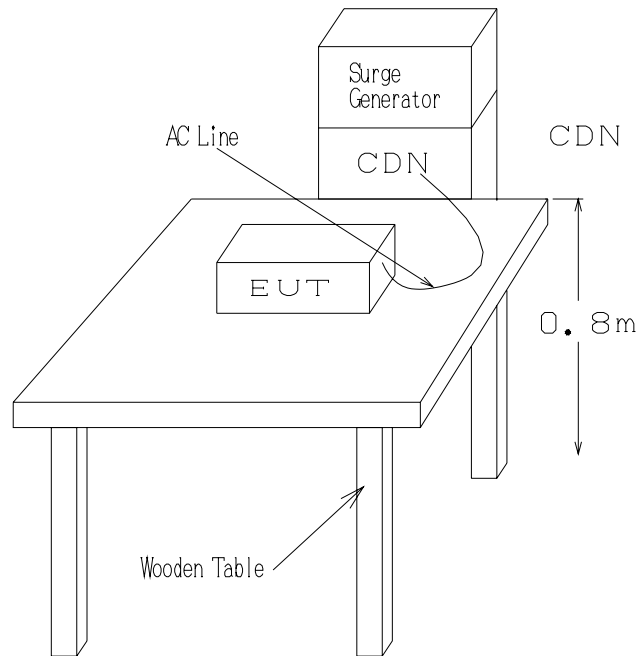
試験結果

ACライン

ライン名	試験レベル (kV)	結合機器	コメント
L - N	±0.5	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±1.0	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±2.0	CDN	サージ電圧を印可したところ点灯中の直管LED蛍光灯が消灯した。試験後においても動作は復旧しませんでした。 誤作動発生時の試験条件 試験レベル： - 2 . 0 kV 位相： 0 ° 印可回数： 1 回目 peak： - 1 3 4 0 I Peak： - 4 0 0 A (その他の試験条件については試験品が復旧しない為実施できませんでした。)
	±4.0	CDN	試験機器損傷の為実施できませんでした。
L - PE	±0.5	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±1.0	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±2.0	CDN	試験機器損傷の為実施できませんでした。
	±4.0	CDN	試験機器損傷の為実施できませんでした。
N - PE	±0.5	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±1.0	CDN	試験時において点灯中の直管LED蛍光灯のちらつきが見受けられた。試験終了後元の作動状態へ復帰した。
	±2.0	CDN	試験機器損傷の為実施できませんでした。
	±4.0	CDN	試験機器損傷の為実施できませんでした。

受付番号	1 1 2 1 0 0 1
試験担当者	Nobuyuki Murai
Page	3 of 2

(概要図)



(写真)

